

3 学期始業式を行いました

1/11(火)、9:25 より、3 学期の始業式をリモートで行いました。校長からは、「将来の夢や決意を言葉にして表明し、実行に移そう」、「思い出深い充実した 3 学期にしよう」、「3 年生は、卒業する最後まで立派な大東高生であり続けよう」、といったメッセージが送られました。

生徒は事前に配布されたプリントを見ながら話を聞きました。



有言実行、前進あるのみ 令和4年1月11日 始業式 校長講話

あけましておめでとうございます。

今年は皆さんにとって大きな変化の年です。それは4月1日から成人年齢がこれまでの20歳から18歳に引き下げられるからです。すでに18歳、19歳の方は4月1日から成人となりますので3年生は全員が4月1日から成人となり、2年生は18歳の誕生日から成人となります。成人になると親の同意がなくても自分で契約ができることとなります。さらに10年パスポートの取得や公認会計士、司法書士等の資格も18歳から取得できるようになります。その一方で、契約などに関する消費者トラブルが多発するのではないかと懸念されています。なお、お酒やたばこ、公営ギャンブルはこれまでどおり20歳未満はダメですから、間違えないでください。

さて、成人になってから先の将来についての話をします。皆さんには将来について、漠然としたもしくはすでに具体的な夢があるのだらうと思っています。そこで年が明けた今、心に決めた将来の夢や決意を言葉にしてお家の人や友だちに表明してみましょう。紙に書いて部屋に貼っておくのも一つの方法です。言語化することで自分の考えが整理でき、人様に表明することで覚悟が決まります。「豊かで幸せな暮らしをしたい」といった漠然としたことでもいいと思います。是非やってみてください。そして夢を実現するための今年の目標を考えてみてください。目標が決まれば計画が立ち、「やり始める」といった行動へとつながっていきます。

マイクロソフト社を創業したビル・ゲイツ氏は、夕食のときは読書禁止という家庭内ルールがあったほどよく本を読む子供でした。その頃の夢は「宇宙飛行士」と「科学者」だったそうです。また、このたび引退を表明したプロ野球の松坂大輔投手は小学校の卒業文集に将来の夢として「プロ野球で100億円プレーヤーになる」と書いています。あの大谷翔平選手も小学校の卒業文集に「野球で全国大会に出場する」と書き、高校のときは「ドラフト8球団から1位指名」と書いています。サッカーの本田圭佑選手は「セリエAで背番号10」と書いており、2014年ACミランでそれを実現した有言実行の人でした。この人たちのように小さい頃の夢を実現させることは簡単なことではありません。彼らは、他人(ひと)からなんとかわれようとずっと夢に向かってぶれることなく努力を重ねてきたに違いないのです。簡単に「スゴイ人だね」で終わっていいのでしょうか。彼らから学ぶことがたくさんあると思います。

今日は一年の目標や決意を考える最適の日です。4月では遅すぎます。4月の好スタートのために今日があるのです。早く始めれば成果も早く出ます。成果が出れば自信になります。自信ができればやる気が湧いて努力を続けることができます。そして最後に夢を成し遂げるのです。「やり始める、やり続ける、成し遂げる」です。

終わりに、3年生の皆さんは卒業の日が終わるまで立派な大東高生であり続けてください。また、全校生徒の皆さんには3学期が充実した思い出深い学期となることを期待しています。そして2022年が皆さんにとってよい年となることを願って今年最初のあいさつとします。